

# ゆいのもり通信

## No. 12

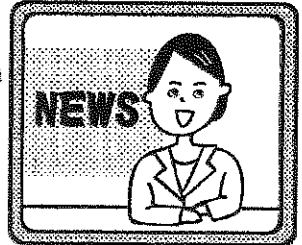
2004年10月1日発行

ゆいのもり編集委員会

昭島市田中町1-1-9

TEL042-545-5451

### 障害者福祉が障害者自立支援法体系へ



#### 自立支援法の特徴と費用負担という問題点

障害者自立支援法によって、日本における障害者福祉制度は、大幅な見直しが行われようとしています。障害者の枠組みを取り外し、身体・知的・精神障害者のサービス一元化を図るという点では、障害者間格差是正を訴えてきた精神障害者分野にとって、意味ある改革となるでしょう。

一方で、多くの問題点もあります。最たるものがサービス利用時における費用の応益負担(定率10%)です。食工房ゆいのもりのような授産施設では月15000円ぐらいを想定しています(ゆいのもり試算)。障害の多くの方はわずかな収入しかありません。ゆいのもりの作業所と授産施設では月15000円以上の方はわずかです。平均では6000円程度です。障害年金を取得できている人は概ね半分ぐらいでしょう。多くの方は収入がなく、親の年金収入に頼らざるを得ない状況にあります。作業所と授産施設は働く場です。「お金を払って働く」、変じゃないですか。

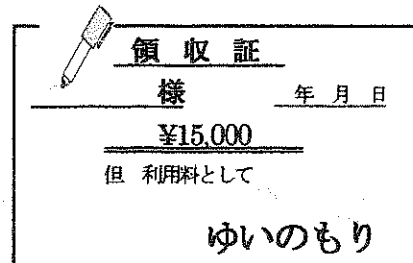
しかし、一方的に応益負担に反対しているわけではないのです。障害年金等が充実して、障害の方が障害によって働けない分の保障がなされるなら、今回の制度でも喜んで費用の応益負担をしたいと多くの障害者は思っています。

#### 働く場の3分類

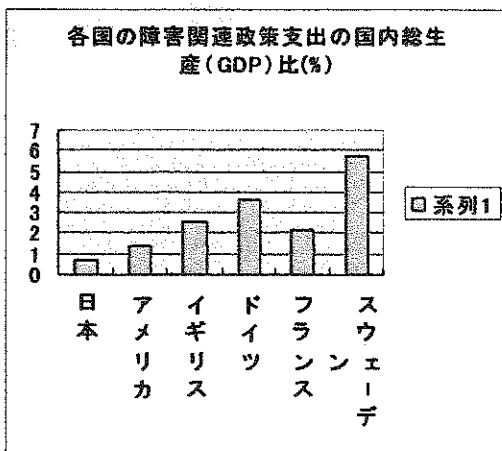
障害者自立支援法では、作業所と授産施設は就労移行支援・就労継続支援・地域生活支援事業の3種類に分類されます。前者の2種になるには高い工賃額等の厳しい条件が想定されます。作業以外の活動の比重が大きいあるいは工賃収入が低い施設は、地域生活支援事業に移行することになります。この事業への補助金は自治体が自由に額を決められる裁量的経費といわれるものになります。これだと施設運営ができるだけ補助金が設定されるのかと危惧します。働けない方やゆっくりと過ごす治療段階の方がまっとうする場を守らなくてはなりません。

#### 財政再建が第一目的

障害者自立支援法が提案された背景には、2003年度から始まった支援費制度におけるサービス費用の増大、さらにいえば国家財政の危機的状況からくる財政問題があります。



#### 諸外国と比較すると低い福祉予算



諸外国と比較すると障害者福祉に日本は冷たい国だということがわかります(左図参照)。「この病を受けたるの不幸のほかにも、この国に生まれたる不幸を重ねるものと言うべし」という呉秀三の言葉を思い出します。

#### 今後、国および市町村に働きかけること

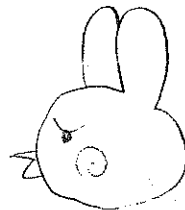
国には所得保障制度の確立を働きかけていきます。昭島市に対しては、各市町村の意気込みがその地域の障害者福祉の内容を決定することになるので、障害福祉計画策定に施策提言をしていきます。

#### 経営の安定化、機能分化、安心できる場をなくすな

このような状況の中で、ゆいのもりとしては今後の活動を以下の4つの視点で検討していきます。①経営の安定効率化のためにゆいのもり社とザ・サードゆいのもりをゆいのもり福祉協会の事業に入れる

②ゆいのもり社、ザ・サードゆいのもり、食工房ゆいのもりの機能・得意分野を明らかにして利用者の選択と努力すべき目標をわかりやすくする ③安心できる場という性格は大事にしながらも就労支援に力を入れていく ④利用者の費用負担に見合う工賃額を実現する (浅川勤)

# 食工房ゆいのもり



## 緊急座談会！！自立支援法について

最近、自立支援法が世間をにぎわせています。  
そこで、食工房のメンバーさんたちが、この法律やこれからの食工房について、話し合いました。  
その中の意見の一部をご紹介します。

1、自立支援法にそって、施設が新体制に移行すると、  
利用料が一般に一万五千元かかるといわれています。  
(注/現在の食工房の平均工賃は8000円。利用料は1000円。)  
もしあなたが一万五千元払うことになるとしたら、どう思いますか？



- ・ひどいと思う。
- ・通えないですよ。無理。通所やめたいです。
- ・通えない人が増えて、ひきこもりになっちゃうんじゃないですか？
- ・死活問題です。
- ・(法律によって世間から)邪魔者扱いされている気がする。



2、食工房に通い続けるためには、どうしたらいいと思いますか？

- ・工賃が上がれば通いつづけられるのに。
- ・法律に反対したいです。
- ・時代の流れなので仕方がない。働くのをもうあきらめようかと思う。
- ・病状が安定しないと稼げないので、通えなくなってしまう。
- ・所得保障を早くしてほしいです。
- ・一万五千元より安くしてもらわないと通えない。困る。

3、一万五千元払ってでも通おうと思いますか？

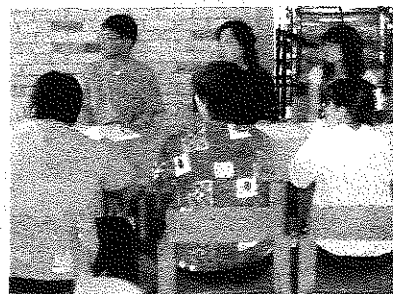
・通う 3名 ・通えない 11名

通うと答えた人の理由  
一万五千元払ってでも、就労を目指してがんばりたい 2名  
一万五千元はきついけど、払わなければ通えないのなら仕方がないのでは 1名

4、いったいいくらまでなら、利用料として払ってもよいと思いますか？

- ・1000円 2名
- ・5000円 3名
- ・15000円 3名
- ・3000円 3名
- ・8000円 2名

[注/調子の悪い時を考慮に入れると、ほぼ工賃±0の金額だと思われます。]



座談会は終始緊迫した話し合いが続き、終わったあと、参加したメンバーさんの中から  
「食工房にこられなくなるのは困る」との声が多数聞かれました。

現在の食工房ゆいのもりの時給は240円。福祉施設としては、けて低い水準ではありません。  
この額を考え、メンバーさんたちにとっての一万五千元とはどういうものなのか、考えてみてください。

たとえ法律が変わっても、メンバーさんたちに居場所が必要だということは、変わりません。

法律が変わるということは、困難であるとともに、  
私たちに新しい目標ができることでもあり、生まれ変わりのチャンスでもあります。

私たち食工房ゆいのもりは、メンバーさんたちが働く居場所を無くさないよう、  
利用料に対して適切な工賃をめざすなど、これからもメンバーさんと共に努力していきたいと考えています。  
皆様のご協力を今後ともよろしくお願い致します。

## 11月19日(土) パンまつり

1階パンひろばカフェ 10:00~3:00

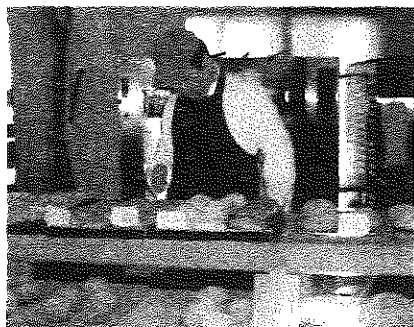
焼きたてパン試食 や 動物パンをつくろう など楽しさいっぱい。ぜひ、ご来場ください！



## 活動



食工房ゆいのもりでは、パンの製造、配達、カフェテリアの運営をしています。  
毎日メンバーさんたちがパンを袋につめたり、カフェテリアで接客をしたりと  
あわただしく活動しています。



おいしいパンを店頭に並べて。



パンの袋詰め。つぶさないように慎重に。



箱詰めしてさあ出荷！

## 新旧職員交代のご報告



あんじょ きよこ  
★安生 貴代子(常勤職員 何でも担当?)

生年月日\*1981年5月9日

性格\*よく喋る。とにかく喋る。喋らないと疲れます。

仕事について\*

パンが本当においしいので、就職したての友人たちがやせていく中、私だけが太り続けています…。職員さんやメンバーさんがやさしく接してくれるので、怒ったり笑ったり、毎日がとても楽しいです。未熟者ですが頑張っていますので、カフェに様子を見に来てください。メンバーさんと一緒に待っています!!

じゅうもんじ さとみ  
★十文字 里実(常勤職員 パン担当)

生年月日\*1985年 11月26日

特技\*運転(免許を取ったばかりの初心者ですが) 運動

仕事について\*

食工房にきてあっという間に五ヶ月が経ちました。毎日、毎日てんやわんやパン作業をしています。覚えることも山ほどあり、それと同時に自分の技術も高めていきたいです。メンバーさんとも仲良くしてもらって一日一日楽しい日を送っています。どうぞこれからもよろしく願います。

たかはし ようこ  
★高橋 席子(非常勤職員 給食担当)

生年月日\*1979年 12月11日

性格\*単純明快(誤字ではありません)

仕事について\* お料理大好き。家族分だけでは物足りなかった  
ので、すごく幸せです。

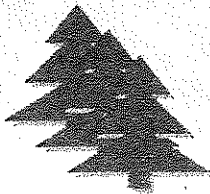
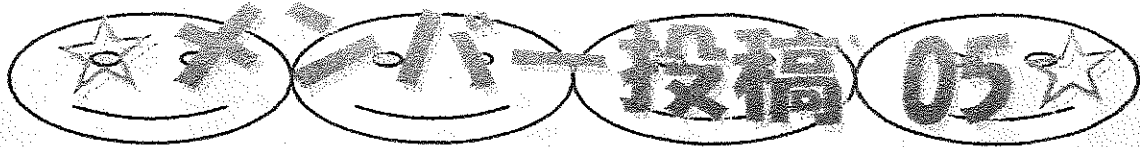


いせお ふみと  
★息 文人(非常勤職員 配達担当)

生年月日\*1975年 2月19日

仕事について\* 週に1~2度パンの配達をしています。  
大切なお客さんのため、  
気を付けてお届けしています。

退職者\*高橋江理子 榎本洋子 斉藤秀子 岡田一恵 以上四名



## 「ゆいのもり社に入ってから」



ペンネーム NA

私は4年前にゆいのもり社に通所しはじめました。最初は、作業所がどうい  
うところかドキドキしていました。

最初にやった作業は花壇です。中神駅のプランターに水をやる作業でした。  
結構、かんたんだったのでこれなら続けられそうだと思いました。

そして、内職作業の紙袋作りをやりました。これは結構難しいと思いましたが、  
職員やメンバーさんのアドバイスでだいたいはできるようになりました。  
それから、薬の副作用で目が上にあがる症状がなくなってきたので、平成14  
年11月に、主治医に「車の免許をとりたい」と言った所、OKが出て、免許  
をとりに教習所へ通うことになりました。

通い始めてから4ヵ月後の平成15年3月に、普通自動車運転免許をとるこ  
とができました。自分には、一生免許は取れないと思っていたので、とても嬉  
しかったです。

免許も取れてひと段落したので、保健福祉センターの清掃をやることに  
しました。仕事の内容は結構ハードでした。しかし、8月にはレギュラーに  
なり勤務日数も増えました。自分がレギュラーになれるとは思っていなかった  
ので、とても嬉しかったです。

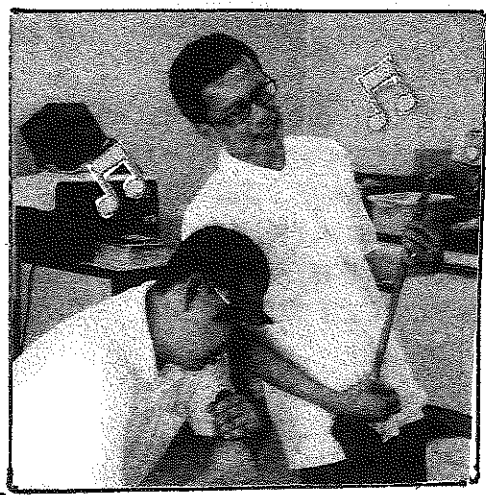
それから少しして、去年あたりから親とうまくいけなくなり、一人暮らしし  
た方がいいと思い、グループホームに入ることを決めました。今年入ってか  
ら、グループホームに入居することが決まり、3月から入居を始めました。一  
人暮らしは全部自分でやらないといけないので、かなり忙しいと思いました。

でも、全部自分でやらなければいけないということは、逆に  
生活にメリハリがついて、暇がつぶれて結構いいのかなと思  
いました。実際、親から離れると、距離がとれて、以前より  
も親との関係は改善されてよかったと思います。

これからも勉強の連続だと思いますが、頑張っていきたい  
と思います。

# ♪ 非常勤職員のご紹介 ♪

ゆいのもり社の非常勤職員として今年度より勤務している千国敬道と申します。  
 現在、精神保健福祉士を目指して勉強中です。趣味は楽器演奏と読書であります。  
 私は高校と大学では音楽ばかりやっており、お恥すかしながら勉強に関しては不真面目な学生でした。そして、大学卒業後もさらに音楽バカの情熱はエスカレートし、就職せず、プログラムのアシスタントまでやる始末。親は、大学まで行かせてやったのにと若干あきれかけていました。稼いだお金は見事に楽器とCD（それと若干の飲み代）にそのまま流れていきました。そんな不安定で好き勝手な生活をしばらく続けていましたが、このままではまずいなと思い、仕事について真剣に考え、何か人の役に立つ仕事がしたいと思うようになりました。そして精神保健福祉士を目指すに至ったわけです。



まだまだ勉強不足の私ですが、一生懸命やりますのでひとつよろしくお願ひします。  
 ◇千国さんには保健福祉センター清掃やワックス清掃など中心に勤務していただいています◇

## 新ワゴン車を恵贈していただきました!!



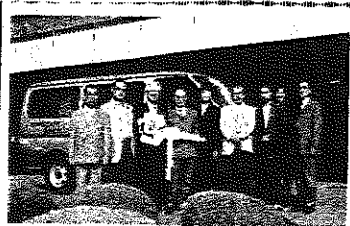
4月に行われた日本金融業界チャリティゴルフ大会（以下、日金会）にて、日金会号11号車として、東京善意銀行様を通して、日産の新型キャラバンを恵贈していただきました。

ディーゼル規制のため今まで使用していたキャラバンを手放すことになってしまい、資金も厳しく困っている状況での大変ありがたいご恵贈でした。

日金会では、これまでも福祉施設への車の寄贈や、阪神大震災の義援金などさまざまな支援を行ってきています。

清掃・ワックス清掃・花壇をはじめとする作業やしう活動に欠かせないワゴン車として、大切に活用させていただきます。

ご恵贈して下さった日金会の皆様には、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。



「日本金融業界チャリティゴルフ大会」(協賛日金会、主催日日本金融新聞社、大会会長 木下盛好アコム社長、副会長 石井恒男第3信託部長、第五十二回大会は8日、神奈川県大磯町のレイクウッドゴルフクラブ・東コース(6・Journey、パニ)に百四名が参加し、開催された。大会開催の目的の一つである

### 日金会11号車を「ゆいのもり社」に贈呈

「チャリティ」に参加者全員が賛同。全国貸金協会の連合会(小倉利夫会長、全国信用情報センター連合会 平野征人会長、全国日産金融協会 高橋貞会長、シーンレター 赤野悦博社長、ジャパンデータバンク(磯崎雅光社長、CITA 佐伯正孝社長、JIFA(土屋順道会長、JICFA(木下盛好会長)、NIC会(石井恒男会長)の業界九団体が側面支援、後援している。今大会では、前回は五十一回大会チャリティ、金も加え、精神障害者共同作業所ゆいのもり社(東京都昭島市、吉田哲子所長)に白ワゴンキャラバンが寄贈された(写真)。

なお、五十二回大会(百四名)の頂上には、ケイ・クリエイトの小島辰男さん、スロアはウト36マン43シロス79ハンティ、8・4、ネット70、6。寄贈協力カップでdynaboo Kosmioを寄贈された。

(詳細は4面)

日金会号恵贈の記事を4月20日号「日本金融新聞」に掲載していただきました。

※日本金融新聞  
4月20日号より抜粋

# 喫茶森堂業中

従業員のつぶやき 「喫茶ノート」より抜粋

喫茶店のスタッフとして、精神病と付き合うひとりの大人として...

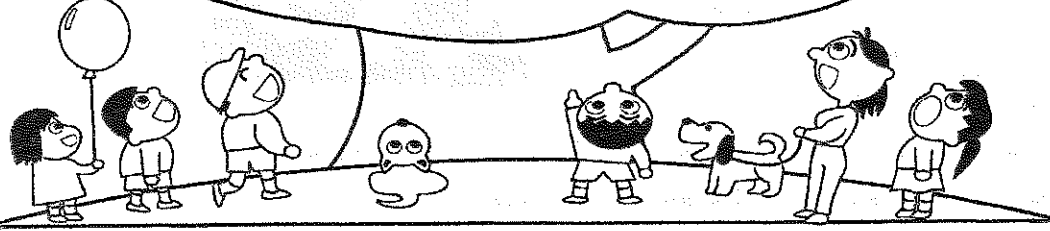
- 9/9 洗い場が壊れて水びたしになった 8年も経つとガタが来る...
- 10/1 今日はお客さんも少なかったのに、汚れたイスを洗いました。
- 11/11 1週間ぶりの仕事。ドジやりそうです。
- 1/13 障害も自分の個性の一つなのだ。でもつらいな。
- 1/26 今日は母がランチを食べに来ます。少し恥かしいの。<
- 2/22 孤独に徹する。人間の本当のやさしさは孤独からの贈りものです。
- 3/9 向いにマルフジが出来てしまう。お客様は行ってしまおうだろうか？ 味で勝負だ。
- 3/15 ぶりむくな ぶりむくな うしろには夢がない
- 3/24 人は、人とふれあってはじめて人になる。人間は1人じゃない。仲間がいるんだ。私達はみんな仲間なんだ。私だけじゃないんだ。
- 5/27 今日は最初続くかどうかわからなかったけどつづきました。
- 6/15 雨降りでお客様がまだ1人しか入ってない。
- 6/21 働いていると充実感が得られるので、私はこの仕事が大好きです。

## 障害者自立支援法 サードではこう考える

「家」サードを雇用された  
の「は」一万円を超えるの  
一定の利用料を徴せなければ  
ならない。——在籍するメンバ  
ーを失職させ、経済的に不安定な  
生活からまた障害者生活支援法  
を「財政難」のあおりで減  
らす。障害者生活を脅かすこと  
になった。

サードとしては「この法律は欠陥だらけ  
で、よくも悪くも多くの障害者にはないが、受  
入期間にわたる利用料をせよめのため  
に、社会福祉法人化を奨励し、何から何の  
法律に準じた施設への生まれ変わりを図  
らねばならぬ」と認めてはいるが、迷って  
いる。

サードが実施したメンバーへのメンバ  
ー割増では「作業所で、働いていないの  
「お金を取るのはおかしい」「「お給料をな  
くならぬ」と動揺がなされる。この「この  
法律の矛盾点が赤裸々に述べられている。



この法律のめんどりにメンバーの関  
心が高くなり、初年度は行かず、翌年度に及び  
ず、白旗を上げてしまった。それはその  
だいたい、年間の0.5万円以下の、障害年金  
給付額の所得の方から、そのころの割増利  
用料として支払うという種別での費用  
負担の仕組みは、施設の利用制限からひ  
きこもり、病状悪化、長期入院という、最  
悪のシナリオが待っているところから

ただ、「法律をいかに障害者生活支援法  
の「この法律は多くの障害者生活支援法  
と比べて何が異なるかをいえない。実際に、  
作業所や施設開設で働く障害者の就業率  
は、80%という数字がある。メンバー  
でも「就業が目的の施設では、いかにい  
なくてよいという人が大半」との指  
摘があった。もちろん、施設から「就業  
へ押し出す努力は必要だが、精神障害者理  
解があり、大まかに待っていてくれる  
ような就業環境は、まだほとんど整備され  
ていないというのが実態であり、これでも  
大きな矛盾を孕んでいるといえる。

今後さらに市町村の力量で福祉が左  
右に変わる時代に入らざるを得ない。この法律を主  
張する方も、昭和三十九年の福祉協議会や障  
害者生活支援法をめぐって、耳を傾け  
ておこなうことが非常に重要となつてい  
る。実際、昨年度から今年度にかけて、ホーム  
ヘルプサービスの実施要求や精神障害者  
への福祉手当打ち切りに対抗して、メンバ  
ーたちもたびたび市議会に参加して意見を  
述べたり、市議会や障害者生活支援法の傍聴に  
出かけるなどしている。こうした動きは大  
事にしてほしい。この法律を「障害者生活  
支援法」としていかに改善するか、サード  
としてもメンバーへの直接的な支援だけ  
でなく、政治・社会的な活動にも力を注い  
ていってほしい。

| 8月                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 7月                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 6月                                                                            | 5月                                                                      | 4月                                                                                                                                                        | 3月                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ライオン屋ツアーメンバー企画<br/>ひなまつりのパーティーメンバー企画<br/>昭和三十九年三月に出店<br/>いちご狩り(山梨へ)</p> <p>味噌汁作り<br/>福祉センター(三井山温泉) + 国立施設<br/>高月病院へケータリング<br/>お花見(沼津)<br/>園遊会(沼津)<br/>カレーシセル<br/>イトーヨーカドー(市内)にてバザー<br/>グリーンフェスティバル(昭和三十九年)に参加<br/>湯葉の単人湯会<br/>木下大サウナスと湯也観覧<br/>グループ・モモの音楽企画に参加<br/>プロレス観戦(東京ドーム)</p> | <p>福祉手帳条例改正についての意見交換会<br/>ケーキバイキング、68名来店<br/>たかつき第2クリニック内障害者へケータリング</p> <p>消費者生活協会の「喫茶森堂」<br/>高月病院へケータリング<br/>初夏一泊旅行(横浜山下公園)<br/>ザ・サードシネマ館(映画鑑賞会)</p> <p>味噌汁の湯 + サイボクハムツアー<br/>手打ち味噌汁<br/>監修(三井山温泉) + 世田谷公園<br/>健康診断 + くら寿司ツアー<br/>ケーキバイキング、41名来店<br/>意見交換会(カラオケ + 福祉センター)<br/>夏祭りの準備</p> | <p>消費者生活協会の「喫茶森堂」<br/>高月病院へケータリング<br/>初夏一泊旅行(横浜山下公園)<br/>ザ・サードシネマ館(映画鑑賞会)</p> | <p>福祉手帳条例改正についての意見交換会<br/>ケーキバイキング、68名来店<br/>たかつき第2クリニック内障害者へケータリング</p> | <p>お花見(沼津)<br/>園遊会(沼津)<br/>カレーシセル<br/>イトーヨーカドー(市内)にてバザー<br/>グリーンフェスティバル(昭和三十九年)に参加<br/>湯葉の単人湯会<br/>木下大サウナスと湯也観覧<br/>グループ・モモの音楽企画に参加<br/>プロレス観戦(東京ドーム)</p> | <p>ライオン屋ツアーメンバー企画<br/>ひなまつりのパーティーメンバー企画<br/>昭和三十九年三月に出店<br/>いちご狩り(山梨へ)</p> <p>味噌汁作り<br/>福祉センター(三井山温泉) + 国立施設<br/>高月病院へケータリング<br/>お花見(沼津)<br/>園遊会(沼津)<br/>カレーシセル<br/>イトーヨーカドー(市内)にてバザー<br/>グリーンフェスティバル(昭和三十九年)に参加<br/>湯葉の単人湯会<br/>木下大サウナスと湯也観覧<br/>グループ・モモの音楽企画に参加<br/>プロレス観戦(東京ドーム)</p> |



年中活動としては、こんなことを...

- 手しごとクラブ
- パティシエクラブ
- 音楽練習
- つくって食べよう
- スポーツ
- 看護学校実習生受け入れ
- お弁当の仕出し



### 感謝状

手しごとクラブ ボランティア

あいはーと 新藤順子殿

お世話になっているみんなより

日頃の「ありがとう」を心に深く表わせていただきました

「トートバッグづくり、肝心なところは手伝ってもらいました」

「小物入れづくり、個人レッスンみたいに教えてもらいました」

「わからないことは、次までに自分で勉強してきてくれました」

「おいしいきゅうりを持ってきてくれました」

「学校の先生やってたんじゃありませんか。教え方が上手」

「ひとり一人の名前を覚えて平等に声をかけてくれました」

「生活の知恵やムダをなくす知恵にうれしい。まさに新藤さんの知恵袋」

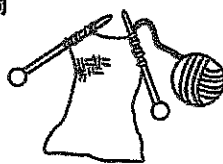
「もう非常勤みたいな感じです」

「けっして、でしゃばったことをしません」

「いい人に出会えたと思います」

「これからもゆいへお願ひします」

ザ・サードゆいのもり メンバー・職員一同



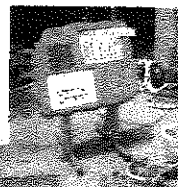
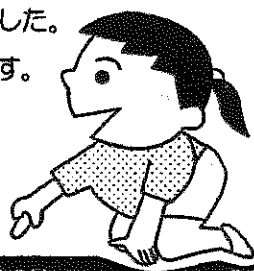
### メンバー投稿

#### 「やさしさとの出会い」 T・O (女性/30代)

私はいままでこんな世界があるなんて、おもいもしなかったです。こんなとは、ザ・サードゆいのもりです。(大きくいうと福祉の世界です。)

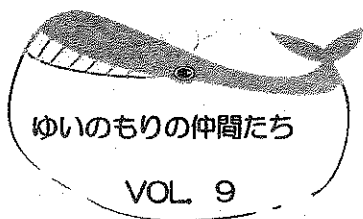
私はいままで人間関係で苦しんできました。人と、どういう風につきあえばいいのかと悩んできました。でも、サードに来て、人とは、こんなにやさしいのかとびっくりしました。もう少し、早く、出会えたらと思いました。でももう私は出会っています。

今、私は、いろいろの悩みは尽きませんが、この事については、とっでもしあわせです。これからも、どうぞ、よろしくお願いします。



| 2月      | 05年1月                                     | 12月                                                     | 11月                                                                                                                                        | 10月                                                                                                                                  | 04年9月                                                                               |
|---------|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| すしパーティー | プロレス観戦後援会<br>プロレス観戦後援会<br>Tちゃんを励ます会メンバー企画 | もちつき大会(食)后援会<br>赤塚不天会館・とまりのレトロ・もも子の湯<br>グルーブ・ももの音楽企画に参加 | パソナ講座<br>都電で遊ぶとけぼり地蔵・浅草メンバー企画<br>卓球メンバー企画<br>ザ・サードシネマ館                                                                                     | 虹のセンター活動報告会へケータリング<br>防犯館+すたむち太郎<br>プロレス観戦後援会ホール<br>バンドやろうぜーメンバー企画スタート<br>ティーンズフットボール<br>手づくり味噌作り<br>ホームヘルプ学習会<br>青柳高等学校(学生)と出店<br>→ | 多摩総合センター職員・メンバーと参加<br>活動報告会(プロレス)と歌・演奏・ダンス披露<br>いきいき健康フェスティバルありほうしんにて出店<br>ゆいゆいの山梨へ |
|         |                                           |                                                         | アレクシア観覧車<br>ケーキバイキング、5名各菜<br>冬季一泊旅行(白根温泉)観覧車にて<br>産生会<br>あんだんて(白野)へ観覧車見学+多摩動物公園<br>赤塚不天会館・とまりのレトロ・もも子の湯<br>グルーブ・ももの音楽企画に参加<br>もちつき大会(食)后援会 | プロレス観戦後援会<br>プロレス観戦後援会<br>Tちゃんを励ます会メンバー企画<br>体験アルバイト(多摩)参加(立飛企業にて)                                                                   |                                                                                     |

ザ・サードゆいのもり 2004年



## 昭島デイサービス「グループ・モモ」活動中

2003年3月に保健所デイケアが終わってしまい昭島市内にデイケアがなくなってしまいました。(2005年6月現在のはたつきクリニックのデイケアがありますが)ということは、作業所や授産施設、生活支援センターのオープンハウスが今ひとつ合わないという人たちの活動する所がなくなってしまったわけです。そこで、食工房、ゆいのもり社、ザ・サード、太陽と風、太陽と空、大きなかぶ、虹のセンター25といったおなじみの団体が協力して昭島デイサービス「グループ・モモ」を2004年10月より開始しました。ちなみに「モモ」という名前はミヒヤエル・エンデのファンタジーの主人公の名前を頂きました。

日時：第1・第3水曜日 午後1:30~3:30  
場所：あいぽっく他  
内容：歌・外出・料理などアイデアを出し合ってます



フラダンスを観て、  
こころも体も揺れる。

出席の多い日も少ない日もあり、利用者の人たちは大変マイペースです。活動的というよりは、のんびり和やかな雰囲気なので日常のわずらわしい事を忘れて、少し幸せな気分になれる、かもしれません。

小さなグループですが、自然にゆいのもりさんたちとふれあっていました。ゆいのもり社の清掃担当の方、あいぽっくを気持ちよく使わせてもらってます。ザ・サードの方、また一緒に歌って楽しみましょう。初詣の後、食工房で食べたパンはとてもおいしかったです。また何かの機会にご一緒する時は、よろしく。  
(虹のセンター25 宮越 康子)

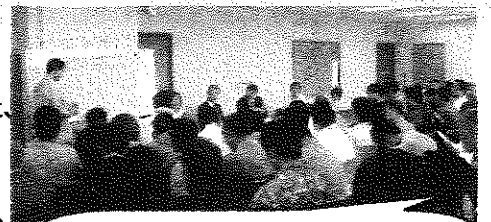
## 精神障害者への福祉手当支給廃止問題を考察する

手当受給当事者の所得が  
年間4万8,000円カット

「なんで?」「うそお!」「え...」。精神障害者だけが、突如福祉手当をカットされるという条例改正にたいして、まずわたしたちは「まもる会」を結成。約140日間にわたり、手当受給当事者や精神保健福祉関係者らはそれぞれの「?」「!」「...」を結集、そこでの議論を抗議運動、すなわち議会請願と署名提出という「カタチ」につなげていきました。残念ながら力が及ばず、年間にして4万8,000円にもものぼる精神障害者217人の所得を「まもる」ことはできませんでした。しかし、白黒だけでない成果もありました。たとえば、議会答弁のなかで、今後の福祉施策では「障害者の意見を聴き取る」という昭島市担当者の発言を引き出せました。また、条例改正時には福祉手当廃止に反対した議員は4名でしたが、請願の紹介議員への要請活動などをつうじて、請願の議会採決時では9名の議員がわたしたちに賛同してくれました(廃止賛成14名)。署名も十数日で758筆いただきました。ご協力、まことにありがとうございました。

昭島市にお金がない。それはこのご時勢から理解はできる。しかし、昭島市に「ハート」がない。それにはどうしても納得がゆきません。精神障害者の日常生活の困窮状態を、「まもる会」主催の「意見交換会」ではろれつこの回らない声で訴え、「市長への手紙」や手当支給復活のための請願署名ではブルブル震える手で書き綴ってきました。しかしながらそこまでしても、昭島市からは、「ハート」のある納得のゆく回答や態度を引っ張り出すことはできなかったのです。まことに忸怩たる思いです。ただ、手当支給廃止の理由として、昭島市の担当者が「(ホーム)やグループホームなどの」サービスがあるから」と連呼したからには、ホームの利用制限の解消やグループホームの絶対数の不足などは、ぜひとも大至急改善してもらわねば辻褄が合いません。今後も追及していきたいところです。

「我邦十何万の精神病者は、実に此病を受けたる不幸の外に、此国に生まれたるの不幸を重ねるものと云ふべし」とは、約90年前に呉秀三東大教授が発表した、かの有名な論文の一説であります。先日、障害者自立支援法は一時廃案となったとはいえ、今後の福祉施策は市町村の手腕ひとつにかかってくることは明白です。昭島市が独断で低水準な福祉施策で妥協してしまわないように、昭島市との福祉懇談会、昭島市議会の動向の注視、昭島市障害福祉計画への参画など、昭島市の「ハート」を揺り動かすために、主体的に福祉施策にわたしたちの意見を反映させていかねばなりません。けっして「昭島市に生まれたるの不幸」を重ねぬために——これこそが福祉手当廃止問題で学び得た教訓です。(昭島市心身障害者福祉手当の精神障害者への支給をまもる会 [現在は解散] 渡邊直司)



これが「意見交換会」(5/16)  
白熱した質疑応答が展開されました。

☆☆編集後記☆☆ 今年は地震や強い台風など、自然災害が多いですね。この間、作業中に地震があったとき、怖がっている人と、地震があったことに気がついていない人がいて面白かったです。「あ